

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください
また必要なときに読めるよう大切に保管してください
使用期限を過ぎた製品は服用しないこと



ヘモリンド[®]舌下錠

販売名：ヘモリンド舌下錠

内服痔疾用薬 第2類医薬品

製品特徴

- 舌の下で溶かして服用する、舌下錠タイプのいぼ痔用薬です（飲み込まない）
- 有効成分が、吸収性の高い舌の裏の粘膜から吸収され、血液にのって、いぼ痔の内側に直接届きます
- いぼ痔の原因であるいぼ内部の根（うっ血）を小さくしていきます

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、吐き気・嘔吐、口内炎様の症状、腹部膨満感

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
軟便、下痢
4. 1ヶ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(裏面につづく)

効能・効果

内痔核、外痔核の症状の緩解

用法・用量

次の量を空腹時に舌下間で服用してください

症状の名称	1回量	服用回数
急性症	2錠	1日4回
一般症状	1錠	1日3回
慢性症	第1日 2錠	1日4回
	第2日 2錠	1日3回
	第3日以降 1~2錠※	1日3回

※慢性症の方は第3日以降、状態をみながら1回1錠に減量してください

- 15才未満は服用しないこと

症状の名称	症 状
急性症	激しい痛みと、出血、腫れ、かゆみ、違和感等を伴う症状
一般症状	急性症の激しい痛みが緩和した後の排便時の痛み、出血、腫れ、かゆみ、違和感等を伴う症状
慢性症	長期にわたり、排便時の痛み、出血、腫れ、かゆみ、違和感等を伴う症状

<用法・用量に関連する注意>

- (1)定められた用法・用量を厳守すること
 - (2)かみ砕いたり、のみ込んだりしないでください(効果が低減します)
 - (3)舌の下で自然に溶かして口腔の粘膜から吸収させてください
- 空腹時の目安：食後なるべく2時間以上

成分・分量

1錠中

静脈血管叢エキス…0.18mg

添加物として、D-マンニトール、セルロース、白糖、カゼイン製ペプトン、カルメロース、マクロゴール、タルク、ステアリン酸Mg、乳糖を含有する

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2)小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4)本剤をぬれた手で扱わないこと

<錠剤の取り出し方>

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる)



製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

発売元 **小林製薬株式会社**
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室

0120-5884-01
9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 **東菱薬品工業株式会社**
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-3-1

提携 **扶桑薬品工業株式会社**
〒536-8523 大阪市城東区森之宮2-3-11

MADE IN JAPAN

10210225
AS-113-113C